

科学をもっと知ろう！

# かがくナビ

アナジャコの

巣型

ここにある巣型は、蒲生干潟に住むヨコヤアナジャコのもので、巣穴構造の調べる研究の際に ポリエステル樹脂を流し込んで作成したものです。研究にあたった木下今日子氏、内野敬氏より寄贈されました。

アナジャコは、泥質（砂泥質）の干潟・浅瀬に生息する大型の底生生物で、Yの字型の巣穴を掘ってその中に住んでいます。その穴は最大で3m以上の深さにもなることがあり、こうした穴が、干潟の内部に酸素を送り込み、浄化に役立っています。

木下氏の研究では1m<sup>2</sup>に約100個の巣穴があった場合巣穴の壁の面積は1m<sup>2</sup>あたり6.7m<sup>2</sup>で、しかもその巣穴壁には干潟表面で生活するバクテリアの10～13倍のバクテリアが生活しているという結果が得られています。これは、単純に考えると、アナジャコが生息する干潟はアナジャコの生息していない干潟の約70倍の水質浄化力を持っている可能性を示しています

## アナジャコ

（節足動物門軟甲綱十脚目アナジャコ科）

体長は9cmほどになり、河口等の砂泥質干潟に棲んでいます。水中の有機物を濾しとって食べています。

